

參考資料

NAKAME History

江戸時代 明治時代	大正9年	昭和2年	昭和8年	昭和10年	昭和14年	昭和39年	昭和61年	平成6年	平成8年	平成14年	平成21年	平成25年	平成28年	平成29年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
<ul style="list-style-type: none"> ● 目黒川沿いで近代工業化が進む ● 中目黒村が幕府の直轄地となる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 目黒川大洪水 	<ul style="list-style-type: none"> ● 東急東横線開通、玉電中目黒線開通 	<ul style="list-style-type: none"> ● 山手通り開通 	<ul style="list-style-type: none"> ● 目黒銀座商店街発足（中目黒で最初の商店街） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 目黒川改修事業完成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地下鉄日比谷線開通 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1回中目黒桜まつり開催 ● 目黒川の激甚災害対策事業完了 	<ul style="list-style-type: none"> ● 目黒川船入場・川の資料館供用開始 	<ul style="list-style-type: none"> ● 目黒川ふるさとの川モデル事業完成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中目黒GT開業 	<ul style="list-style-type: none"> ● ナカメアルカス（中目黒アリーナ・アトラスタワー）開業 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中目黒駅周辺地区整備計画策定 ● 中目黒駅周辺地区街づくり協議会設置 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中目黒高架下開業 	<ul style="list-style-type: none"> ● なかめスタイル策定 	<ul style="list-style-type: none"> ● 東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス開校 ● スターバックスリザーブロースタリー開業 ● 中目黒駅周辺地区整備計画改定 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中目黒駅前北地区市街地再開発準備組合設立 ● 一般社団法人中目黒駅周辺地区エリアマネジメント設立 ● 目黒川船入場及び旧川の資料館利活用協議会設置 	<ul style="list-style-type: none"> ● 目黒区と一般社団法人中目黒駅周辺地区エリアマネジメントが船入場広場の使用契約締結 ● 目黒川船入場を目黒区が占有許可取得 	<ul style="list-style-type: none"> ● 目黒区と一般社団法人中目黒駅周辺地区エリアマネジメントが旧川の資料館の賃貸借契約締結 ● 東京地方裁判所・中目黒分室開設



【江戸百景】



【戦後の伊勢協通り】
(現在の目黒銀座商店街)



【中目黒夏まつりの始まり：阿波おどり】



【中目黒駅周辺地区街づくり協議会】



【なかめスタイル】



【東京地方裁判所・中目黒分室】



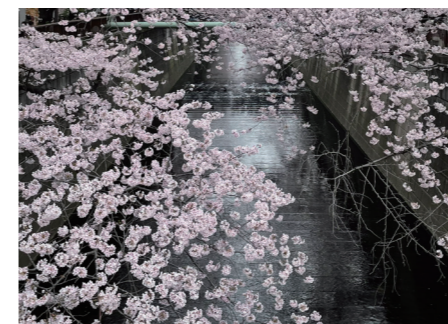
【目黒川の染め物洗い】



【目黒川氾濫によるまちの様子】



【中目黒GT、ナカメアルカス】



【目黒川沿いの桜】



【東京音楽大学中目黒・代官山キャンパス】
©東京音楽大学



【FUNAIRI-BA】

- 社会経済情勢が大きく変化の中で、持続性の高い社会の実現が求められており、地域においては、公共空間の利活用、空間の再構築、デジタル技術の活用、自然災害の激甚化・頻発化への対策など、時代の潮流に対応したまちづくりを推進することが重要となっています。

SDGs(持続可能な開発目標)

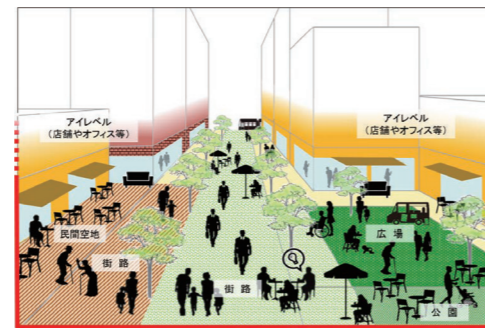
- 平成 27(2015) 年 9 月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された、2030 年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標。
- 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、「住み続けられるまちづくりを」などが掲げられています。



出典：国際連合広報センター
【SDGs の 17 のゴール】

ウォーカブルなまちづくり

- 様々な出会いと交流が生み出されることにより、イノベーションの創出やまちの求心力の根源となるような、居心地が良く歩きたくなる「ウォーカブル」な空間が、都市に求められています。
- 国では、まちなかの官民のパブリック空間をエリア一体的に捉え、居心地が良く歩きたくなるまちなかへの修復・改変（空間の再構築、利活用）を一括で推進するための取組を進めています。



出典：国土交通省「ストリートデザインガイドライン - 居心地が良く歩きたくなる街路づくりの参考書 -(バージョン 2.0)」
【「居心地が良く歩きたくなる」まちなか】

まちづくり DX

- あらゆる分野でデジタル技術を活用し、地域や社会の課題を解決するデジタル・トランスフォーメーション (DX) の推進が求められています。
- まちづくり DX では、インターネットや IoT、AI、デジタルツイン技術等を活用して、まちづくりに関する従来の仕組みを変革していくことが重要となっています。



出典：国土交通省
「まちづくりのデジタル・トランスフォーメーション実現ビジョン (ver1.0)」
【まちづくり DX】

自然災害の激甚化・頻発化

- 近年、全国の豪雨災害が激甚化・頻発化するなど気候変動の影響が顕在化しています。
- さらに、今後は、降雨量の増加や海面上昇、台風の大規模化等が発生されることが見込まれます。



出典：東京都建設局ホームページ
【増水時の荒川と蛇崩川の合流点】

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う変化

- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、人々の住まい方や働き方、消費行動は大きく変化しました。それに伴い、都市は、人々のライフスタイルに応じた多様な暮らし方・働き方の選択肢を提供していくことが必要であり、そのためのまちづくりを推進することが重要となっています。

住まい方	・テレワークの普及等による居住地選択の多様化（自宅周辺での活動増加、都心への移動の減少・都心からの転出）
働き方	・テレワークの普及等によるオフィスの減少やコワーキングスペース・シェアオフィスの増加 ・ノマドワーカーやフリージャーなど、場所に縛られない働き方の浸透 ・副業規定の変更等を受けたダブルワーカーの増加
消費	・消費行動のオンラインシフト ・デリバリーサービスやテイクアウトの増加 ・マイクロツーリズムの定着 ・キャンプやグランピングなどアウトドアへの注目

デジタル化の急速な進展やニューノーマルに対応した都市政策のあり方検討会 中間とりまとめ

<新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う社会の変化>

- テレワークの急速な普及や自宅周辺での活動時間の増加に伴い、「働き方」や「暮らし方」に対する意識や価値観が変化・多様化
- 都市は、人々のライフスタイルに応じた多様な暮らし方・働き方の選択肢を提供していくことが必要

<目指すべきまちづくりの方向性>

- 市民一人ひとりの多様なニーズに的確に応えるべく、「人間中心・市民目線のまちづくりを深化」させること
- ニーズに対応して機敏かつ柔軟に施策を実施する「機動的なまちづくりを実現」すること
- 地域の資源として存在する官民の既存ストック（都市アセット）を最大限に利活用し、市民のニーズに応えていくことが重要



出典：国土交通省「ニューノーマルに対応した新たな都市政策はいかにあるべきかー都市アセットの最大限の利活用による人間中心・市民目線、機動的なまちづくりへー」
デジタル化の急速な進展やニューノーマルに対応した都市政策のあり方検討会 中間とりまとめ報告書

【デジタル化の急速な進展やニューノーマルに対応した都市政策のあり方】